

# アルミニウム用化学研磨剤

近年、携帯電話やデジタルカメラに代表されるようにアルミニウムを使用した部品が多数出回っております。アルミニウムの軽量で加工性に富んだ性質を利用したものを更に表面処理を施すことで、付加価値を付与することが可能となります。これは、光沢、半光沢、梨地仕上げなど使用箇所や使用条件、またはニーズに合わせて処理することが可能となり、また、物理的な表面処理と違い、表面全体を均一にそして短時間で処理することが可能です。リサイクルが容易なアルミニウムの可能性を更に向上させることが可能な表面処理剤となっております。



仕上り	品名	使用目的	用途および特徴	推奨使用条件
光沢仕上げ用化学研磨液	シャイナル	光沢処理剤	処理時間の短縮、電解研磨に匹敵する光沢。アルマイト処理後にもこれまでにない光沢を示す。亜硝酸ガスの発生が少ない。 	建浴: シャイナル 1Lに対し 硝酸(67.5%) 60ml添加 温度: 95~105°C 時間: 0.5~3分
	シャイナル3号	光沢処理剤	幅広いアルミニウム合金において光沢が得られる。溶存アルミニウムの許容量が大きく、ビットの発生が少ない。 	建浴: シャイナル3号 1Lに対し 硝酸(67.5%) 100ml添加 温度: 95~105°C 時間: 0.5~2分
	スーパーシャイナル	半光沢処理剤	高度の研磨効果を短時間で発揮。硝酸を添加せず、通常品の10倍以上の研磨能力。液管理が容易。ショット処理、ヘアライン加工後の光沢処理に使用可能。 	建浴: 原液 温度: 90~110°C 時間: 5~60秒
	スーパーシャイナルNo. 2	半光沢処理剤	高度の研磨効果を短時間で発揮。硝酸を添加せず、通常品の10倍以上の研磨能力。液管理が容易。ショット処理、ヘアライン加工後の光沢処理に使用可能。 	建浴: 原液 温度: 90~110°C 時間: 5~60秒
	ロースーパー	半光沢処理剤	低温で硝酸を使用せず、短時間で研磨効果を発揮。 	建浴: 原液 温度: 70~110°C 時間: 5~30秒
梨地仕上げ用処理液	サテンナル	アルカリエッチング添加剤	サテンナルを添加することで苛性ソーダ減少。材料のロール目、スリ傷等が見えにくくなる。クリンカーの生成が遅くなる。リードタッチも発生しにくくなる。 	液組成: 苛性ソーダ 75g/l サテンナル 7cc/l 温度: 50°C (35~60°C) 時間: 3~7分
	サテンシャイナル	酸性梨地化学研磨処理剤	均一の梨地処理が可能 ネームプレート板に使用されている。 材料のロール目、すり傷などを見えにくくできる。 	建浴: 原液 温度: 95~110°C 時間: 40~120秒

※  は、PRTR非該当品を表します。